

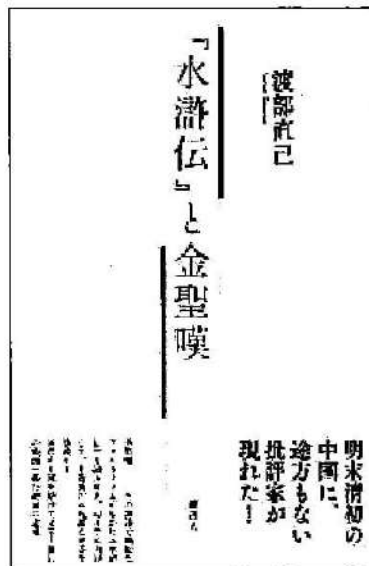
『『水滸伝』と金聖嘆』

渡部直己著

本体2,700円+税 四六判 254頁 ISBN:978-4-924671-69-0

明末清初の中国に、途方もない批評家が現れた！
金聖嘆——その無謀で繊細なフォルマリズムに導かれ『水滸伝』を読み解き、導き手に肉薄して、小説批評の起源と変奏を描破する。

著者が生死を賭けて文学＝批評の根源へ挑む絶後の達成。



【本書の内容】《莊子》《離騷》《史記》《杜甫詩》、小説《水滸伝》、戯曲《西廂記》を〈六才子書〉と呼び論じた、中国明代末期・清代初期の文芸批評家・金聖嘆。その金聖嘆が、元々120回だった《水滸伝》を70回にまで削った「70回本」は、後世にも大きな影響を与えた。金聖嘆の『水滸伝』読解法をもとに、さらに本作を精緻に読み込んでいく。それに加えて、『水滸伝』から派生した『金瓶梅』を同様に分析。日本の文芸評論の世界に、新たな地平を切り開く一冊。〔表紙はイメージです〕

【著者】渡部直己(わたなべ・なおみ)文芸評論家。一九五二年生まれ。著書に『谷崎潤一郎 擬態の誘惑』『中上健次論 愛しさについて』『かくも繊細なる横暴 日本「六八年」小説論』『日本小説技術史』『小説技術論』『日本小説批評の起源』など。

◆◆事前予約受付中！【1月15日(水)受注締切】◆◆

FAX: 03-5244-5976 もしくは電話: 03-5244-5975 まで

電子メールでのお問い合わせ、ご発注も受け付けております。web@dokushojin.net

番線印	株式会社読書人受注短冊		ご注文数
	渡部直己著 本体: 2,700円+税 ISBN:978-4-924671-69-0		冊
	電話番号	—	—
	FAX	—	—
	ご担当者様名		

FAX 03-5244-5976 までご予約お待ちしております！

明石健五